



## 高等学校における「特別支援教育の視点を取り入れた授業」の取組

項目	視点	実施内容
「学習環境」の整備	環境の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の SHR でホワイトボードのどこにどんな内容を書いているか確認した後、定位置に置く</li> <li>教室内で置き場所を決め、なるべく変更しないようにしている</li> <li>背面黒板の掲示をカテゴリーごとに分けた</li> <li>健康チェック表提出など毎朝の SHR でやることは掲示物を作って残実に黒板に貼っておき、自主的に取り組めるようにしている</li> <li>指示を目に付くところに貼る</li> <li>実験の際にいれる試薬の組み合わせや器具に色ラベルを張り色で識別できるようにしている</li> <li>本時の内容が教科書の何ページにあるかを板書</li> <li>調理実習を行うとき、食器やワークシートの提出、ふきんの処理などが分かる表示の作成</li> <li>生徒の導線に物の置き場を作った</li> <li>保管場所を増やした</li> <li>ロッカーの上など、できるだけ物をなくした</li> <li>練習問題等の配布を教室前に設置した棚で行う</li> <li>教室の後ろからでも見えるタイマーを設置し活動時間を意識しやすくした</li> <li>活動の残り時間が分かるようにタイマーを使用している</li> </ul> <p>↓背面黒板の掲示カテゴリー化、 ホワイトボードの有効活用</p>
		<p>↓生徒全員が活動時間を意識できる スクールタイマーの活用</p>  

刺激量の調整

- ・教室前面に物を置いたり、黒板に掲示物を貼ったりしないようにしている
- ・ベランダ側のカーテンを閉めて光があたらないようにしている
- ・隣のクラスの音や声が気になるとき、窓やドアを閉める
- ・時計もないほうが授業に集中できるという生徒もいたが、これは迷っている
- ・背面黒板の掲示に優先順位をつけ、厳選し掲示物を減らしている
- ・お知らせ事は後ろの黒板に書く
- ・学習プリントのレイアウトを課題1~2個だけのシンプルなものにしてしている
- ・板書内容を二種類に分け、ノート記録用は左、メモは右にする
- ・チョークは白、黄、赤のみにしている
- ・黒板一枚に収まる板書量にするよう工夫した
- ・Teams を活用することでワークシートの量を減らした
- ・板書をできるだけ簡潔にしている

↓教室前面および黒板に掲示物を貼らない

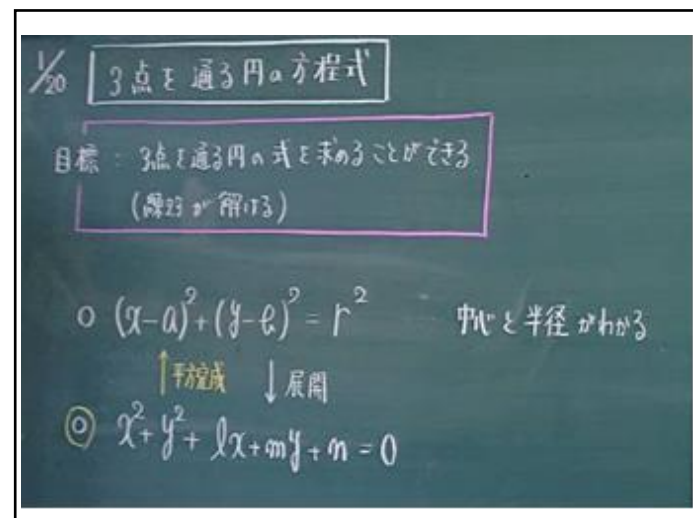


どの子にとっても「わかる」「できる」授業の工夫

めあての明確化

- ・年度初めにシラバスを使って必ず説明している
- ・その日のテーマ、目標をまず明らかにして授業を始める
- ・本時の目標を最初に板書している
- ・本日何をするか、どこまでできたらOKかを最初に伝えている
- ・授業中内容が進むたびに学習内容を確認している
- ・ワークシートに学習のポイントを示し、何を学ぶのかを確認しながら授業を進めている
- ・あらかじめ単元での目標をプリントで示す
- ・各単元で何をしていくのかをあらかじめ伝えた
- ・課題の全員達成を毎回の授業の目当てにしている
- ・授業の最初に今日の授業でできるようになってほしいことを、授業の最後に次時の予告を伝えている
- ・学習課題を板書する
- ・ホワイトボードを使って目的を明確にする会話をした
- ・「ギターの演奏をする」ではなく、「ギターのこの部分を強化する」のような目標を決めさせて授業をした
- ・1授業につき、ワークシート1枚で終わるようにしている
- ・クラスでは、生徒に文化祭の目標やコンセプト等を十分に考えさせた

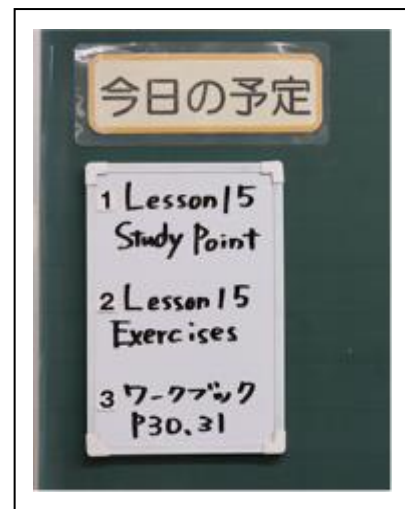
↓その日のテーマ、目標の明確化



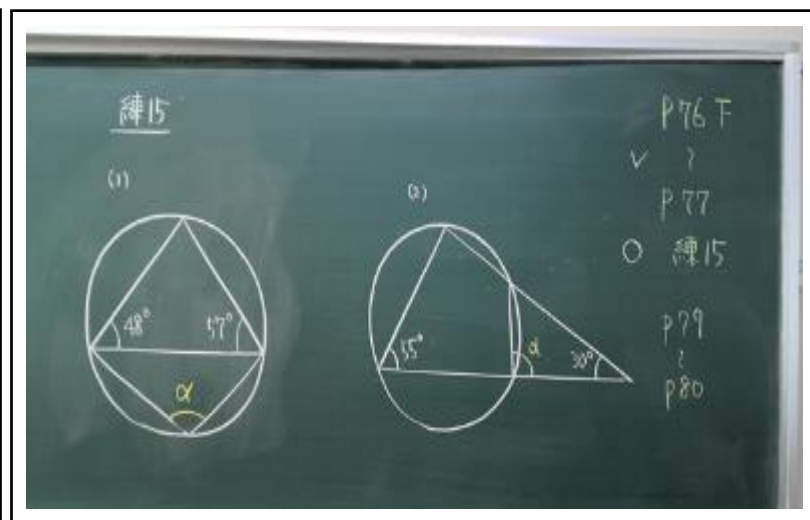
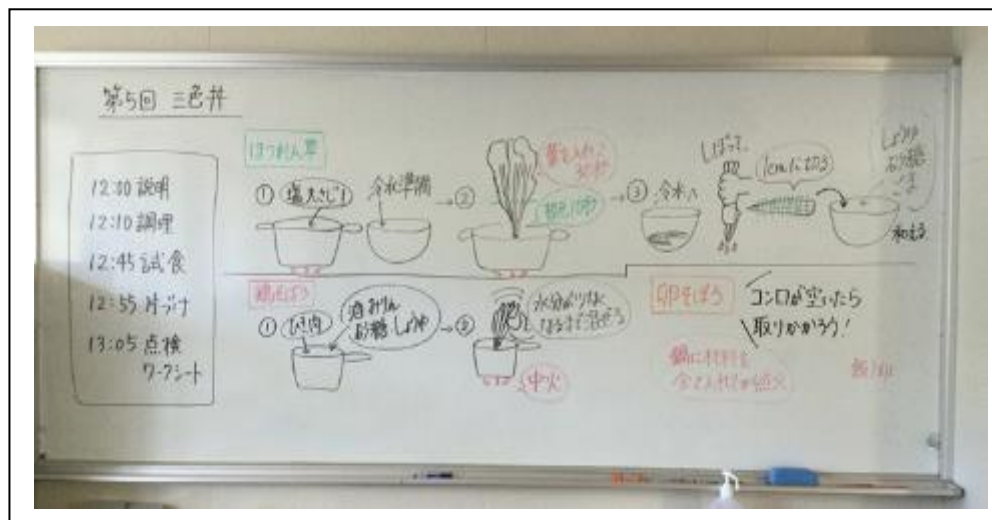
学習の見直し

- ・ 今日することを板書する
  - ・ 今日の授業でプリントの〇番まで進めると最初に言う
  - ・ 授業プリントに通し番号を付けている
  - ・ 前時のノート内容を必要に応じて復元して授業を進めている
  - ・ 本時の目標をMQ、まとめをMAとし、なるべく50分で黒板一枚に収めるようにしている
  - ・ タイマーで時間の指示をする
  - ・ 前時の復習、本時の目標という流れで何をするか、何を使うのかをあらかじめ示す
  - ・ 古文の文法事項が出てきたら文法ページ〇〇と文法書のページも書き、生徒が後で振り返られるようにした
  - ・ 前時の内容が本時にどう関わるか、既習のどの知識が必要かを確認している
  - ・ 実験の際に事前に実験操作の動画を見させて予習している
  - ・ 学習プリントの単元名や作品名を記入する
  - ・ ワークシートで本時の内容の大筋を見通せるようにすることで学習量分かるようにした
  - ・ 黒板右端に本時の内容・流れを緑のチョークで書く、その際、教科書の何ページを開いておくのかということを見える化している
  - ・ 課題の量を精選し、課題の全員達成を板書した
  - ・ 学習活動の流れを固定し、見通しを持って活動できるようにした
  - ・ 新しい種目の最初の時間に、大まかな流れを説明。1時間ごとの授業の最初に、その日の活動の流れを説明する
  - ・ 実習をするときは簡潔な言葉でホワイトボードの手順を書くようにしている
  - ・ 実験中もタブレットで確認しながら操作できるようにしている
- ↓調理実習の手順をホワイトボードに図示、時間の目安も明示

↓その時間の予定を知らせておく



↓教科書のページを板書





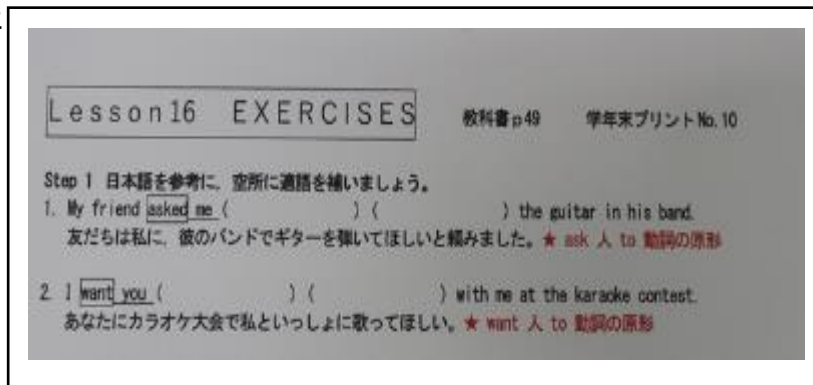
- ・プリントに番号を振ったり、イラストを入れたりしている
- ・大事なところは二色刷りにしたり二重線、波線などを入れたりして視覚的にわかりやすくしている
- ・黒板にはどの位置に何を書くかを決め、生徒と共有したうえで進めている
- ・なるべくスライドを使って指示や手順を示している
- ・課題の答えや解説をいつでも見られるように板書や教室後ろに用意している
- ・生徒の活動中に余計な説明や発言などは控えている
- ・鍵盤を大きくした図をプリントと黒板に用意して説明をしている
- ・指示や手順、注意点などを黒板やホワイトボードに明記している
- ・視覚的な資料(グラフ、イラスト、ポスター、写真)などをワークシートに入れたり、前で提示したりしている
- ・イラストや漫画を使用している
- ・分かりにくい言葉等は板書したり図示したりする
- ・資料を通じて実物を見る機会を設けている
- ・イメージしにくいものに関しては、動画などを活用し、視覚的に物事をとらえやすくしている。
- ・授業の内容を整理して板書、後でノートを見ても授業の振り返りができるようにしている
- ・パワーポイントの図を活用して説明する
- ・理解できた生徒は席を立ち、周りに教えるようにしている
- ・生徒に作業を指示する際はタイマーを用いて残り時間を示したり、黒板に〇時〇分までとか書いたりしている
- ・常に教材提示装置使用で明確化している

↓テレビモニターを使用した視覚的資料の提示



- ・大きな声で2回以上指示
- ・簡潔な指示をしている
- ・頻繁に机間指導を行うようにしている
- ・指示を一度ですまし、なるべく追加の指示はしない
- ・指示の内容を具体的にしている
- ・地図表示はなるべく簡略化している
- ・黒板の左端を、取り掛かる問題番号を示すスペースにしている
- ・授業で使う定理や公式が、その授業内でずっと残るような板書計画・タイマーを活用
- ・教科書のどこのページのどこの行なのかを、合間できちんと確認する

↓プリントに通し番号をふる、二色刷りにする



↓言語情報の視覚化。

画像を使った語句調べ。各生徒のまとめをロイロで共有。



集中の持続

- ・ 古典場面を演じてみる活動
- ・ 全員で声をそろえて発言させる機会を作っている
- ・ 短い時間制限を設定してのペアワーク（20秒、30秒、1分）の実施
- ・ 問題演習等で説明する人を変えながらアウトプットとする機会を増やした
- ・ 動画等の活用
- ・ 考える時間、聞く時間等のメリハリをつける
- ・ アイスブレイクの実施
- ・ パソコン教室が使えるときは必ずキーに触れさせ、1分1秒でもパソコンに慣れさせる
- ・ 一方的に話す時間が長ならないように、グループワークなどを積極的に取り入れている
- ・ フリーソフトを使用し、家のパソコンでも連続した習熟を期す
- ・ 目標となる文法事項を取り入れたゲームの実施
- ・ ロールプレイングの導入
- ・ クイズを作成し、楽しく復習できるようにしている

↓グループでの発表活動

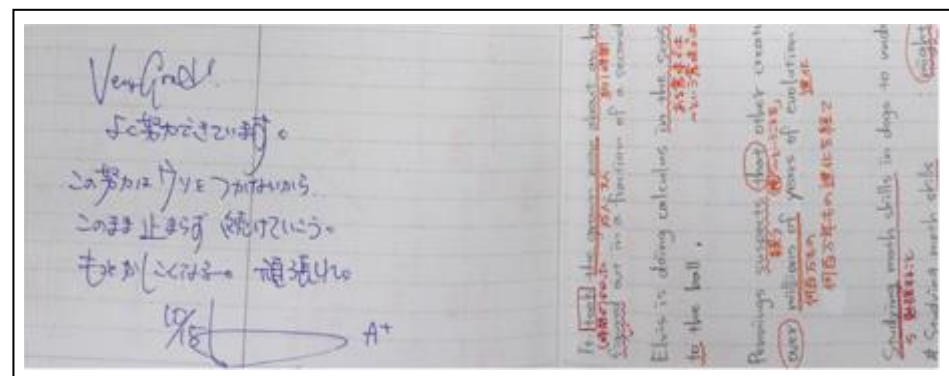


- ・ 授業の始まりに、はじめ5分にゲームを入れるなどして全員がそろって授業に入れるように工夫した
- ・ 個人、ペア、グループの流れを使用して、個人活動のみにならないようにしている
- ・ イメージしやすいように生徒を前に呼んで動作で説明する（化学の結合の仕方や強弱など）
- ・ 教え合いや復習プリントを使って、講義形式に偏らないようにしている
- ・ 目当てを達成する価値を授業の始まり、終わりに語り、途中にも目当てを忘れないよう声かけを行っている
- ・ 教員が話す時間はなるべく20分以内にしようとしている
- ・ 授業の半分の時間を説明、半分の時間を問題演習の時間に分けている
- ・ ペアワークやグループワークを行ったり、ゲームを取り入れたりするなど、長時間の受動的な活動ばかりにならないようにしている
- ・ 生徒同士でノートチェックをさせたり、音読の時間を設けたりして聞くだけの時間が続かないようにしている

情緒の安定

- ・ ノートにコメントを書く
- ・ グループワークをなるべく実施
- ・ ペアで活動を取り入れている
- ・ 演習を増やし協力してプリント等をさせる
- ・ 今は相談してもよい時間ということ伝えて
- ・ 答えが合っていたら必ず褒める
- ・ めあて達成のための活動時間を少しでも多く捻出し、その間は教室を自由に動いてよいようにしている
- ・ 演習問題を解くときは 一人で解く→話し合い→教員の解説→生徒同士で説明 にするようになっている
- ・ 3人での授業なのでお互いにフォローしながら進めている

↓ノートにコメントを書く



- ・グループ活動で発表などするときは評価シートに良かった点、改善点の欄を作ってお互いに認め合う場面を設定する
- ・発表などで自己評価、他者評価させる
- ・保育、読み聞かせの授業で自上手だった人へ向けたコメントの記入
- ・体育祭や文化祭の振り返りでは他人の良いところを見つけさせ、それをまとめて教室掲示している

↓発表の自己評価・他者評価

内容	チェック項目	bad	○	good
内容について	① 興味深いトピックだったか	1・2・3	④	5
	② 内容はわかりやすかったか	1・2・3	④	5
	③ 論点は明確だったか	1・2・3	④	5
	④ 十分な情報があったか	1・2・3	④	⑤
				total 17

話し方	チェック項目	bad	○	good
話し方について	① 声の大きさ・発声の明瞭さ	1・2・3	④	⑤
	② 話す速度・強弱・ポーズ	1・2・3	④	⑤
	③ 姿勢・アイコンタクト	1・2・3	④	⑤
	④ 資料の提示の仕方	1・2・3	④	⑤
				total 20

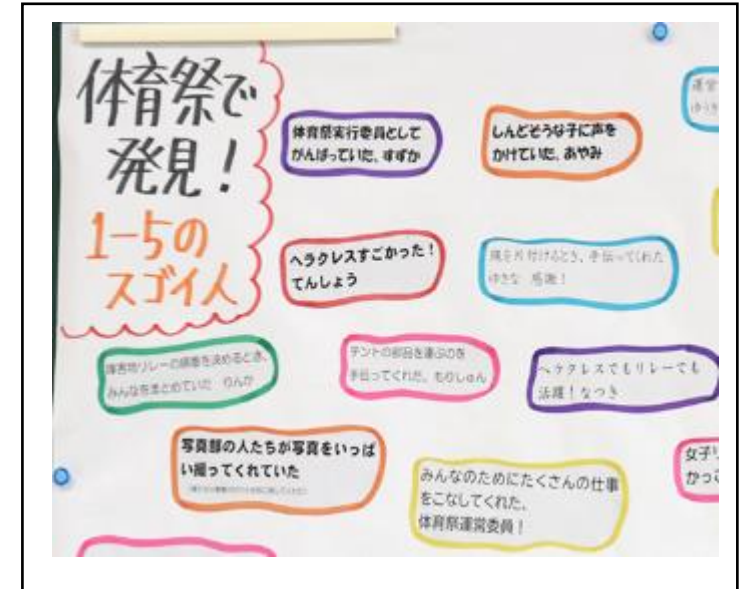
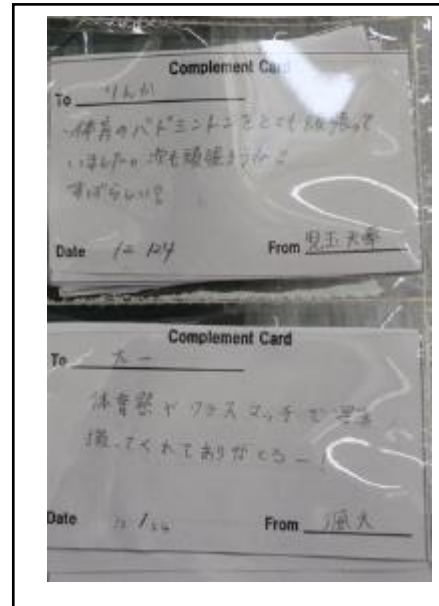
●「ここがこんなふうによかった！」とほめよう！

3人とも声の大きさは2リズと2を聞かされた。  
資料もたくさんあり、指示のしかたもよかったです。ここが印象的でした。

●「ここをこうするともっとよくなる！」とアドバイスを送ろう

語と語の間は少し休ませよう。

↓ 他人のよいところを見つけて教室に掲示↓







・単元ごとに学習ポートフォリオを作成し、学習前と学習後を比べて自分が成長したことを書かせるようにしている↓学習ポートフォリオ

体内環境としての体液・腎臓と肝臓による調節

学習前

血液の成分とその役割について知っていることを書こう ヘモグロビン(赤血球) ...酸素の多いところでは酸素と結び付き、酸素の少ないところでは酸素をほぼ可逆的に白血球... 体へ侵入してきた菌をやっつける 血小板... 17がしたところをかさぶたをつくって止める	腎臓の役割について知っていることを書こう 体に有害なアミノ酸を腎臓で尿に変える	肝臓の役割について知っていることを書こう アルコールで肝臓が悪化する。 心から近いので身近なこと書いた。
---	--	--

学習後

血液の成分とその役割について知っていることを書こう 赤血球... 酸素を運ぶ。 白血球... 免疫に関与して病原体を攻撃する。 血小板... アグリニで血液凝固 血しょう... 薄い黄色の液体で栄養分などを運ぶ。	腎臓の役割について知っていることを書こう 血液をろ過し尿尿になり、尿尿は多くろ過されるので、ろ過したものを再吸収してまた体の中を循環し、いらぬものは集合管を通り尿として体外へ排出される。	肝臓の役割について知っていることを書こう からだに必要は物質の合成、不要な物質の分解をする。 血糖値の管理 アミノ酸を分解して発生した有害なアミノ酸を尿素に変える アルコールの分解
--	--	--

学習前と学習後をくらべてみて、あなたが新たに学んだ点は何ですか? 有害なアミノ酸を尿素に変えることは腎臓だと思えていたけど、今回の授業で肝臓も関係していることがわかった。尿をろ過するけど関係ないから、腎臓と肝臓は手分けして働いているんだな。腎臓はろ過して、肝臓は合成や分解をしてくれるんだな。血液はろ過して、肝臓は合成や分解をしてくれるんだな。血液はろ過して、肝臓は合成や分解をしてくれるんだな。	学習内容をこれからの生活にどのようにいかしますか? タバコは酸化炭素が含まれているから吸ってはいけない。酸化炭素が酸素と結びつきやすい性質をもっているから、ヘモグロビンを壊しているからと分かり、吸ってはいけない。タバコは体に悪影響を及ぼすから吸ってはいけない。タバコは体に悪影響を及ぼすから吸ってはいけない。タバコは体に悪影響を及ぼすから吸ってはいけない。
---	---

学習の記録 (授業内容をまとめてください)

① 11月26日(金)「体内環境と体液」  
・体内の細胞 70%が体液に浸されている  
・体外の環境が変化しても体内の環境を一定に保とうとする → 恒常性(ホメオスタシス)  
○脊椎動物の体液  
・血液... 血管内を流れる。酸素、栄養分、老廃物とからだの適切な場所に運搬  
・組織液... 組織の細胞ととりま。血しょうが毛細血管からしみ出している  
・リンパ液... 組織液の一部がリンパ管に入るとリンパ液になる

② 11月29日(月)「酸素運搬と血液凝固」  
○酸素の運搬  
赤血球中のヘモグロビンというタンパク質が酸素と結合して酸素ヘモグロビンとなる  
△酸化還元反応(酸素運搬)の仕組み  
→ヘモグロビンから酸素を運ぶ  
○血液凝固  
血管が傷つき、血小板が傷口をふさぐ。傷口にフィブリンができた凝集能ができる。血球がくっついて血餅を形成する  
糸状溶... フィブリンを分解し血餅を溶かす働き  
体外で静置した血液は血餅と透明な黄色い液体(血清)に分れる  
フィブリンは白血球、赤血球を巻きこめて血餅を形成

③ 12月13日(月)「腎臓」  
・からだの水分量、無機塩類の濃度の調節、老廃物 + 尿素を排出  
ネフロン - 腎小体(糸球体、ボーマンカプセル)、細尿管、集合管... ネフロンが集合管  
○ろ過 血液は糸球体の壁の間隙にろ過され、ボーマンカプセルに排出される → 原尿  
○再吸収 細尿管と集合管から毛細血管へ移動

④ 1月14日(金)「肝臓」  
○役割... からだに必要な物質の合成、不要な物質の分解  
○肝臓につながる3つの血管  
①肝動脈... 心臓から酸素を運ぶ  
②肝静脈... 心臓へ血液を送る  
③肝門脈... 消化管で吸収した物質を肝臓へ運ぶ  
肝臓の構造  
肝動脈、肝門脈は外へ内へ流れる、中心静脈に集まり、肝静脈を経て心臓へ戻す。肝臓は右葉と左葉に分れる。胆管は内へ外へ流れている。動脈と門脈は右葉と左葉の間に流れる  
○はたらき  
①血糖濃度の調節  
グルコース → グリコーゲン → グリコーゲン分解  
②血しょう中のタンパク質の合成  
③アミノ酸分解 → 有害なアミノ酸を発生 → 肝臓で尿素を合成  
④ヘモグロビンを分解 → ビリルビン(胆汁の成分)  
⑤有害な物質を分解、有害な物質に変える... 解毒作用 → アルコール



一人一人の教育的ニーズに応じた支援	<p>思考・表現活動への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業で使う考え方や公式等を冒頭で復唱したり、プリントにのせたりしておく</li> <li>・ 板書にポイントを書くスペースを設け、そこを見ながら問題を解く</li> <li>・ 古典で事前にポイントとなる語を提示してから自力で訳する活動をしている</li> <li>・ 解決のためのキーワードを与え生徒同士で考える</li> <li>・ 問題を解いたり英作をしたりするときはヒントになる単語、熟語を黒板の隅に書いている</li> <li>・ 口頭でもヒントになるようなことを言ったり机間巡視により個別にも対応したりしている</li> <li>・ 課題の答え及びヒントをいつでも自由に見られるように板書や教室後ろに置いている</li> <li>・ 現代文の記述問題では生徒それぞれが回答する時間を取り、2～3分後にヒントを出すことで書けていない生徒も考えられるようにしている</li> <li>・ 机間指導中によく分かっていない生徒がいたら具体例を提示する</li> <li>・ 簡単なポイントを分かりやすく整理したプリントを作成している</li> <li>・ 表現活動の作品例を提示することで作品作りのイメージが持てるようにしている</li> <li>・ 注目すべき点をヒントとして出す</li> <li>・ レポートを書く際はどのようなことを書くのか例示している</li> <li>・ 文章を書くのが苦手な生徒が多いので、文章の書き方やよく使う表現なども教えている</li> <li>・ 分数の計算ができない生徒が多いので、式を一つ一つ分解してゆっくり説明している</li> <li>・ 新しい種目の最初の授業で評価のポイントを説明。毎時間、個人練習の時間を設定している</li> </ul>
一人一人の教育的ニーズに応じた支援	<p>話すことへの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒間での話で授業が進むよう考えている</li> <li>・ 話し合いは基本的に2～3人で行っている</li> <li>・ きちんと聞いてほしいときは前を向かせてゆっくり話した</li> <li>・ だれと活動してもよいことにした</li> <li>・ 面談シートの作成</li> <li>・ 発言機会を増やした</li> <li>・ 少人数での話し合い</li> <li>・ 生徒が話す機会が多くなるように疑問形で投げかける</li> <li>・ ペアで答えを確認してから発表する</li> <li>・ 話しやすい人と隣同士になるように席を決めさせる（ルールはあり）</li> <li>・ 話しにくいという子に対してはなるべく目立たないように順番を後ろに回している</li> <li>・ 指名の配慮。答えが出るまで粘ったりしない</li> <li>・ 一つの発問に対して必ず数名を指名するようにし、特に違った意見をしっかり取り上げ、その理由を示すとともに考えたことを認めてやるようにしている</li> <li>・ 音読時に同時に音読することで一人一人が読みやすい環境を作っている</li> <li>・ 保育の授業で読み聞かせの練習をする際に時間を決めて全員が声を出しやすいようにしている</li> </ul>

- ・その場で質問できない生徒のために質問カードを配って授業後回収し、以降の授業で回答している
- ・話すことが苦手な生徒もいるので基本的には授業中に全員の前で発表することはしていない
- ・隣同士で短時間話し合う機会を作る
- ・ペア、グループ、全体と段階を踏んでは発表するようにしている
- ・iPadで意見を書かせ回答共有してみんなに見えるようにすることで大勢の前で発表するのが苦手な生徒も意見を発表できるようにしている
- ・指名するときに前もって伝えておく
- ・発表が苦手な生徒には直接当てて発表させることはせず、ペアやグループワークを通して発語を促したり、ワークシートに書かせたりしている

iPad画面で回答共有 →  
【みんなの漢文日記】



読むこと、書くことへの配慮

- ・プリントのフォントを大きくする
- ・フォントを教科書と同じものに変更した
- ・プリントはフォント11、ゴシック体で行の幅を広くしている
- ・黒板の板書の文字の大きさをマス目4つ分で書いている
- ・試験で問題文の中の大事なところはフォントを大きくしたり下線をつけたりして分かりやすくしている
- ・難しいと思われる漢字のみ横に大きく書いている
- ・英語が読めない生徒のクラスでは単語にカタカナで読みをつけたり、単語の下に日本語で書いたワークシートを使ったりしている
- ・問題文や重要度の低いものは書かなくてもよいようにプリントにあらかじめ印字しておく
- ・プリントで授業を行うことで書く量を必要最低限にして聞くことへの意識を増やす
- ・ワークシートを使うことで書く量を減らしている
- ・本文や問題文を書かなくていいようにワークシートを使っている
- ・ノートに書く量が多いときは時間を多めにとって全員が書けるようにしている

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文の本文プリントを用意し、ノートに貼って板書内容をそこに書き込ませることで書く量を軽減している</li> <li>・古典ではルビ入りの本文をいつでも見られるよう用意している</li> <li>・クラスによって授業プリントを作成し、赤青ペンの指示など細かくする</li> <li>・文量を気にせず書けるよう枠にマスや線を入れない</li> <li>・感想を書かせるときは用紙に罫線を入れ、行の幅も広くするようにしている</li> <li>・枠組み作文を実施している</li> <li>・授業中はメモ用紙を配布し、雑に書いてよい旨の説明をし、家に帰ってノートにきれいに書くよう指示する</li> <li>・小説の続きやエッセイなど自由作文の課題で、書き出しの一文を固定することで、取り掛かりやすくしている</li> <li>・文章を読むときは意味、語句調べの時間を1時間取り、図書室で活動している</li> <li>・ポートフォリオは書く量が多いので提出期限を長めに設定している</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">運動・感覚への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習を個別に教えている</li> <li>・実験器具の使用の際はあらかじめ実際に使う様子を見せる</li> <li>・聞くばかり、話すばかりにならないように活動量を調整している</li> <li>・個別の助言をする</li> <li>・活動中の生徒一人一人をしっかりと見取るよう努力し、課題の量、質、ヒントなどを見直し続けている</li> <li>・選択別授業の導入により、興味のある種目を選択して取り組む。授業のはじめに個別練習の時間を設定。得意な生徒が苦手な生徒を指導している</li> </ul>